

令和 8 年

稜 線

～令和 7 年中の山岳遭難・山岳警備活動～



岐 阜 県 警 察 本 部

目 次

第1 山岳遭難の発生状況

1 概況	1
2 過去10年間の発生状況	2
3 月別発生状況	3
4 主要山系別発生状況	4
5 目的別発生状況	5
6 態様別発生状況	5
7 年齢別遭難者	6
8 都道府県別遭難者	7
9 山岳会等加入状況	8
10 登山届提出状況	8

第2 山岳警備活動

1 山岳パトロール	9
2 新穂高登山指導センターにおける常駐警備	9
3 山荘における常駐警備	9
4 山岳救助訓練	9
5 捜索救助活動の状況	10
6 県警への出動状況	10

第3 山岳遭難防止活動

1 安全指導活動	11
2 広報啓発活動	12
3 山岳遭難対策協議会との連携	12

登山届の提出について	13
------------------	----

表紙写真

弓折岳から笠ヶ岳を望む

第1 山岳遭難の発生状況

1 概況

発生件数123件（前年比＋29件）、遭難者156人（前年比＋52人）

〔令和7年中の岐阜県内における山岳遭難の発生状況〕

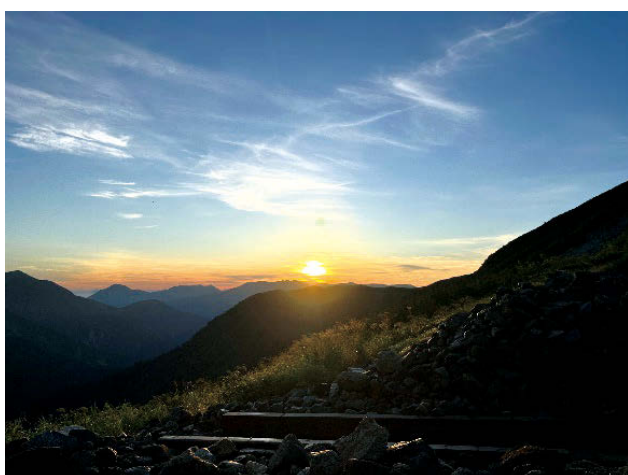
区 分 年	発生件数 (件)	遭難者数（人）					
			死 亡	行方不明	負 傷		無事救助
					重傷	軽傷	
令和7年	123	156	16	0	27	31	82
令和6年	94	104	9	4	28	23	40
増 減	＋29	＋52	＋7	－4	－1	＋8	＋42

〔遭難者の内訳〕

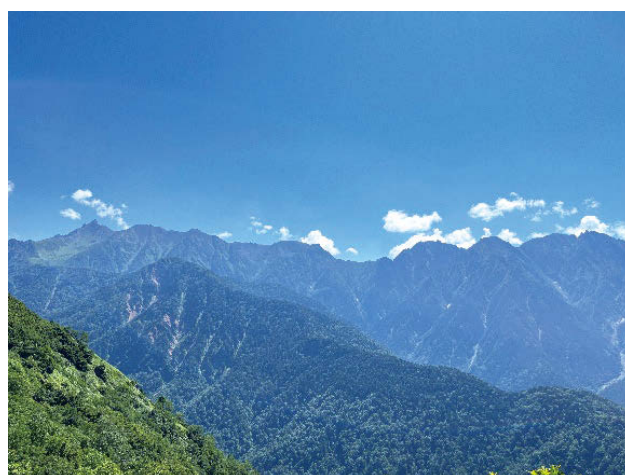
- 死 亡 16人（前年比＋7人）
- 行方不明 0人（前年比－4人）
- 負 傷 58人（前年比＋7人）
- 無事救助 82人（前年比＋42人）

〔主な特徴〕

- 前年に比べ発生件数・遭難者ともに増加
- 主要山系以外での発生件数の割合が全体の56.1%（69件）
- 態様別では発病・疲労の遭難者の割合が全体の32.7%（51人）
- 年齢別では40代と20代の遭難者の増加が顕著



双六小屋からの朝日



笠新道から穂高連邦を望む

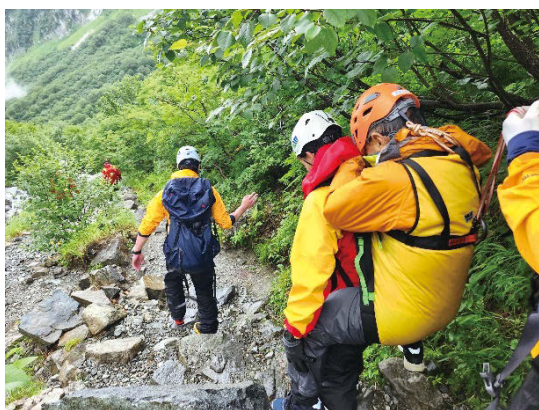
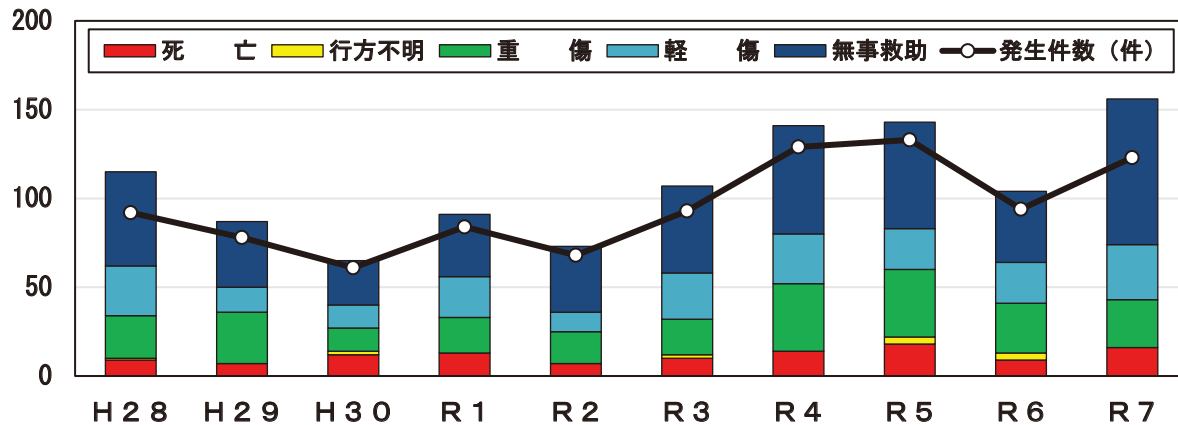
2 過去10年間の発生状況

令和7年の遭難者は、過去10年間で最多となった。

[過去10年間の発生状況] ※（ ）内は単独登山での遭難者数

	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
発生件数 (件)	9 2	7 8	6 1	8 4	6 8	9 3	1 2 9	1 3 3	9 4	1 2 3
遭難者数 (人)	1 1 5 (32)	8 7 (39)	6 5 (35)	9 1 (33)	7 3 (40)	1 0 7 (44)	1 4 1 (63)	1 4 3 (75)	1 0 4 (38)	1 5 6 (53)
死 亡	9 (5)	7 (6)	1 2 (8)	1 3 (6)	7 (4)	1 0 (5)	1 4 (9)	1 8 (10)	9 (5)	1 6 (8)
行方不明	1 (1)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	4 (3)	4 (2)	0 (0)
負 傷	重 傷 2 4 (8)	2 9 (10)	1 3 (5)	2 0 (6)	1 8 (8)	2 0 (7)	3 8 (17)	3 8 (16)	2 8 (7)	2 7 (12)
	軽 傷 2 8 (10)	1 4 (5)	1 3 (5)	2 3 (10)	1 1 (6)	2 6 (12)	2 8 (10)	2 3 (14)	2 3 (10)	3 1 (11)
無事救助	5 3 (8)	3 7 (18)	2 5 (15)	3 5 (11)	3 7 (22)	4 9 (18)	6 1 (27)	6 0 (32)	4 0 (14)	8 2 (22)

(人)



背負い搬送による救助活動



県警ヘリで救助に向かう隊員

3 月別発生状況

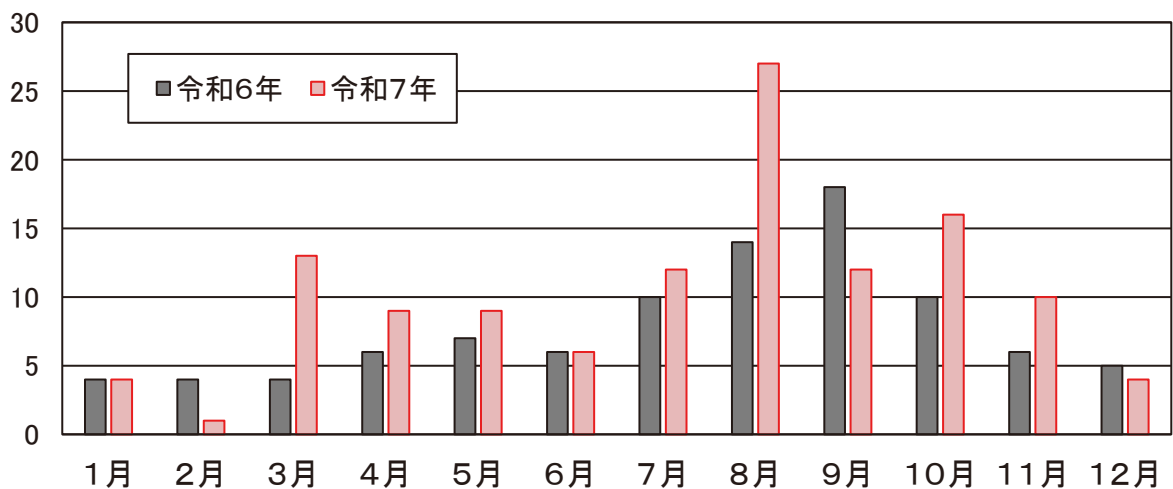
月別の発生件数は、8月が最も多く27件（前年比＋13件）であり、全体の22.0%を占めている。

[月別発生状況]

区 分 月	発生件数 (件)	遭難者数（人）					
			死 亡	行方不明	負 傷		無事救助
					重傷	軽傷	
1 月	4	5	0	0	0	2	3
2 月	1	1	0	0	0	1	0
3 月	13	15	1	0	3	5	6
4 月	9	9	2	0	2	2	3
5 月	9	9	2	0	2	1	4
6 月	6	6	0	0	2	1	3
7 月	12	12	2	0	1	1	8
8 月	27	37	4	0	6	5	22
9 月	12	12	0	0	2	5	5
10月	16	29	2	0	6	3	18
11月	10	11	3	0	2	4	2
12月	4	10	0	0	1	1	8
合 計	123	156	16	0	27	31	82

[月別発生状況(前年対比)]

(件)



4 主要山系別発生状況

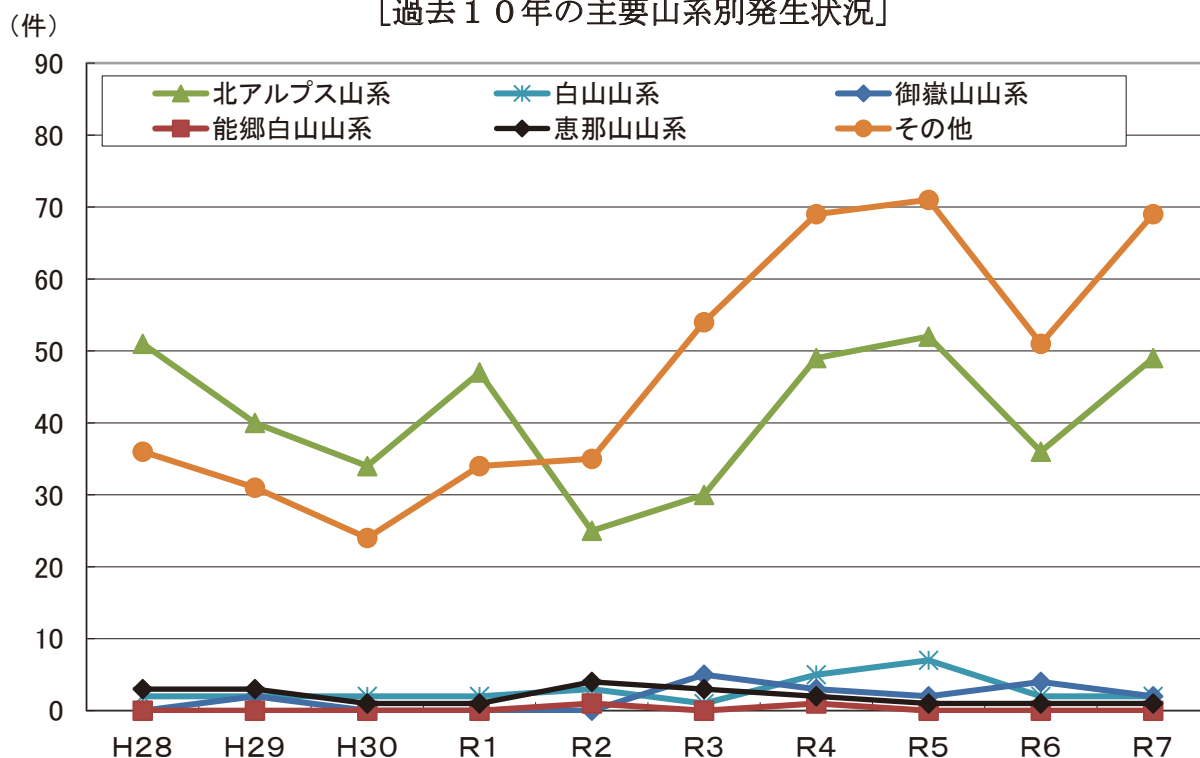
主要山系別の発生件数は、北アルプスが最も多く４９件（前年比＋１３件）であり、全体の３９．８％を占めている。

主要山系以外の発生件数は、６９件（前年比＋１８件）であり、全体の５６．１％を占めており、金華山２１件、納古山５件、迫間山３件など、都市部からの交通利便性が高く、軽登山向けの山での発生が増加している。

〔主要山系別発生状況〕

区 分 山 系		発生件数 (件)	遭難者数 (人)					
				死 亡	行方不明	負 傷		無事救助
						重傷	軽傷	
主 要 山 系	北アルプス	49	62	8	0	13	9	32
	白 山	2	3	0	0	1	0	2
	御 嶽 山	2	2	0	0	1	0	1
	能郷白山	0	0	0	0	0	0	0
	恵 那 山	1	1	0	0	1	0	0
そ の 他		69	88	8	0	11	22	47
合 計		123	156	16	0	27	31	82

〔過去１０年の主要山系別発生状況〕



5 目的別発生状況

目的別の遭難者は、登山目的が最も多く１０７人（前年比＋２７人）であり、全体の８７．０％を占めている。

[目的別発生状況]

区 分 目 的		発生件数 (件)	遭難者数（人）					
				死 亡	行方不明	負 傷		無事救助
						重傷	軽傷	
登 山 目 的	登 山	１０１	１２８	９	０	２６	２６	６７
	ハイキング	０	０	０	０	０	０	０
	岩 登 り	３	３	１	０	０	１	１
	スキー登山	３	４	０	０	０	１	３
	小 計	１０７	１３５	１０	０	２６	２８	７１
山菜・茸採り		６	６	３	０	１	０	２
そ の 他		１０	１５	３	０	０	３	９
合 計		１２３	１５６	１６	０	２７	３１	８２

6 態様別発生状況

態様別の遭難者は、発病・疲労が最も多く５１人（前年比＋２９人）であり、全体の３２．７％を占めている。

[態様別発生状況]

区 分 態 様			遭難者数（人）				
			死 亡	行方不明	負 傷		無事救助
					重傷	軽傷	
滑 落 ・ 転 落		４１	１０	０	１３	１６	２
転 倒		２６	０	０	１３	１３	０
道 迷 い		２１	０	０	０	０	２１
発 病 ・ 疲 労		５１	３	０	０	０	４８
そ の 他		１７	３	０	１	２	１１
合 計		１５６	１６	０	２７	３１	８２

7 年齢別遭難者

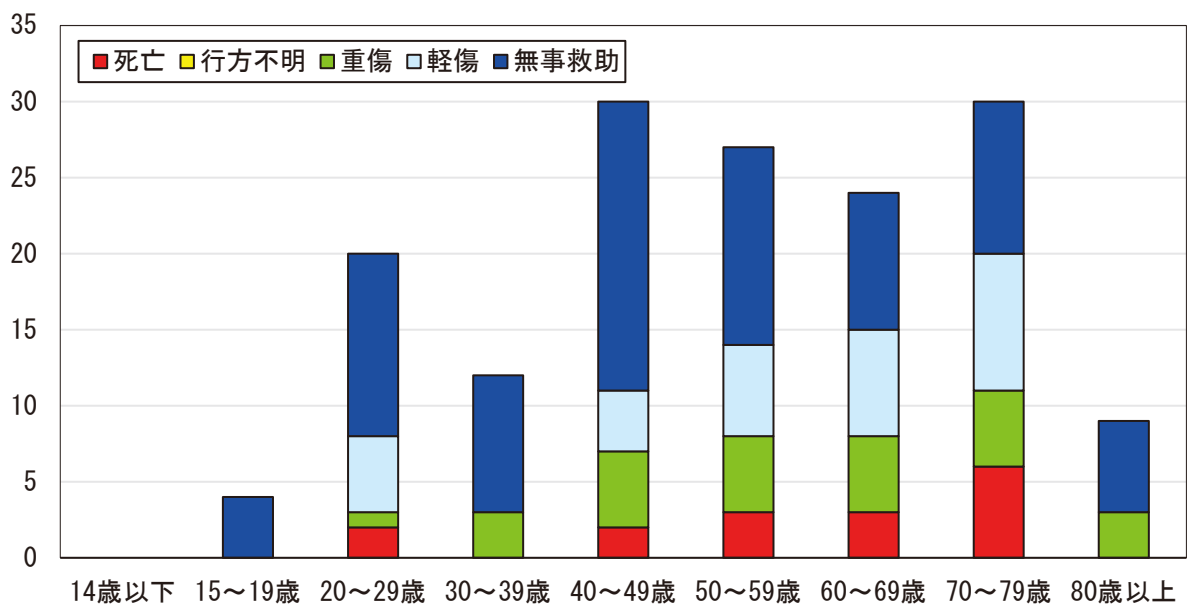
年齢別の遭難者は、40代、70代が多く共に30人であり、前年対比では40代（+21人）と20代（+16人）の増加が目立った。

〔年齢別遭難者数〕

区 分 年 齢	遭難者数（人）					
		死 亡	行方不明	負 傷		無事救助
				重傷	軽傷	
14歳以下	0	0	0	0	0	0
15～19歳	4	0	0	0	0	4
20～29歳	20	2	0	1	5	12
30～39歳	12	0	0	3	0	9
40～49歳	30	2	0	5	4	19
50～59歳	27	3	0	5	6	13
60～69歳	24	3	0	5	7	9
70～79歳	30	6	0	5	9	10
80歳以上	9	0	0	3	0	6
合 計	156	16	0	27	31	82

〔年齢別遭難者数〕

（人）



8 都道府県別遭難者

居住地別の遭難者は、県外居住者が111人（前年比＋45人）であり、全体の71.2％を占めている。

このうち、愛知県居住者が最も多く42人（前年比＋17人）であり、訪日外国人は5人（前年比＋1人）、在留外国人は2人（前年比＋1人）であった。

〔都道府県別遭難者数〕

都道府県		遭難者数（人）					
			死 亡	行方不明	負 傷		無事救助
					重傷	軽傷	
関 東	東 京	13	1	0	3	0	9
	茨 城	2	0	0	0	1	1
	栃 木	2	0	0	0	1	1
	群 馬	1	0	0	0	0	1
	埼 玉	2	1	0	1	0	0
	千 葉	7	2	0	0	3	2
	神奈川	4	1	0	0	0	3
中 部	長 野	2	0	0	0	1	1
	静 岡	2	0	0	1	0	1
	富 山	1	1	0	0	0	0
	福 井	4	0	0	0	0	4
	岐 阜	45	6	0	8	17	14
	愛 知	42	2	0	5	5	30
近 畿	三 重	1	0	0	1	0	0
	滋 賀	2	0	0	0	0	2
	京 都	5	0	0	1	2	2
	大 阪	4	0	0	2	0	2
	兵 庫	7	1	0	3	1	2
	奈 良	1	0	0	0	0	1
中・四国	広 島	2	0	0	1	0	1
	愛 媛	1	0	0	1	0	0
九 州	大 分	1	0	0	0	0	1
外 国 籍	訪日外国人	5	1	0	1	0	4
	(在留外国人)	(2)	(0)	(0)	(1)	(1)	(1)
合 計		156	16	0	27	31	82

※ 訪日外国人とは、日本国籍を有しない者で、観光等を目的として一時的に本邦に滞在している者。

在留外国人は、居住している都道府県に計上した。

9 山岳会等加入状況

山岳会等には、遭難者のうち146人が未加入であり、全体の93.6%を占めている。

〔山岳会等加入状況〕

区 分 加入組織	遭難者数（人）					
		死 亡	行方不明	負 傷		無事救助
				重傷	軽傷	
社 会 人 山 岳 会	10	1	0	1	0	8
大 学 山 岳 部	0	0	0	0	0	0
未 加 入	146	15	0	26	31	74
合 計	156	16	0	27	31	82

10 登山届提出状況

令和7年中の山岳遭難のうち登山届を提出していたのは49件であり、提出率は39.8%（前年比+5.8%）であった。

また、北アルプスにおける山岳遭難では、登山届を提出していたのは40件であり、提出率は81.6%（前年比+14.9%）であった。

〔登山届提出状況〕

区 分	発生件数（件）			遭難者数（人）					
		北アルプス	北アルプス 以外		死亡	行方 不明	負 傷		無事 救助
							重傷	軽傷	
提 出	49	40	9	63	8	0	10	11	34
未提出	74	9	65	93	8	0	17	20	48
合 計	123	49	74	156	16	0	27	31	82

〔北アルプスにおける山岳遭難の登山届提出状況（過去5年間）〕

令和7年	提出40件	未提出9件	合計49件（提出率81.6%）
令和6年	提出24件	未提出12件	合計36件（提出率66.7%）
令和5年	提出42件	未提出10件	合計52件（提出率80.8%）
令和4年	提出40件	未提出9件	合計49件（提出率81.6%）
令和3年	提出23件	未提出7件	合計30件（提出率76.7%）

第2 山岳警備活動

1 山岳パトロール

北アルプスにおいて、登山者に対する安全指導や登山道の危険箇所点検等の山岳パトロールを山岳警備隊員延べ62人が計34日間にわたり実施した。

2 新穂高登山指導センターにおける常駐警備

登山者が増加する時期に、北アルプスの岐阜県側登山口に所在する「新穂高登山指導センター」に山岳警備隊員延べ77人が計77日間にわたり常駐し、登山者に対する安全指導や山岳情報の提供、登山届や登山に関する相談の受理を行った。

また、山岳遭難発生時には、迅速な捜索救助活動を実施した。

3 山荘における常駐警備

北アルプス（穂高連峰）での登山者の安全確保と迅速な救助活動を行うため、登山者が増加する春・夏・秋山の時期には、穂高岳山荘（標高2,996m）を、越年時には、西穂山荘（標高2,385m）を拠点として山岳警備隊員延べ159人が計46日間にわたり常駐し、山岳パトロールや救助活動等を実施した。

4 山岳救助訓練

山岳警備隊は、遭難が発生した際に迅速的確な救助活動を行うため、警察航空隊や関係機関・団体とも連携し、計画的に山岳救助訓練を実施し、救助技術の向上を図っている。

〔山岳救助訓練の実施状況〕

部 隊 区 分	山 岳 警 備 隊			警 察 航 空 隊
	飛驒方面隊	能郷白山方面隊	恵那山方面隊	
訓練日数(日)	31	7	8	1
参加人数(人)	283	53	45	5

※ 参加人数は、延べ人数



常駐警備



雪上歩行訓練

5 搜索救助活動の状況

遭難の発生に際し、延べ932人（前年比+120人）の警察官が出動し、山岳救助隊（民間）は延べ56人（前年比+24人）が搜索救助活動に従事した。

〔搜索救助活動状況〕

区 別 年	発生件数 (件)	県 警 察 (山岳警備隊等)		民 間 (山 岳 救 助 隊)		同行者等 (人)	合 計 (人)
		出動件数 (件)	出動人数 (人)	出動件数 (件)	出動人数 (人)		
令和7年	123	122	932	17	56	72	1060
令和6年	94	93	812	15	32	48	892

※ 出動人数は、延べ人数

6 県警ヘリの出動状況

令和7年中の山岳遭難のうち、県警ヘリが出動した件数は46件（前年比+27件）であり、全体の37.4%であった。

〔県警ヘリの出動状況〕

区 分 年	出動件数 (件)
令和7年	46
令和6年	19

※ 他県警察ヘリを含む



県警ヘリから降下する隊員



北アルプス夏山警備開始式



県警ヘリによる救助訓練

第3 山岳遭難防止活動

1 安全指導活動

(1) 安全指導と危険箇所の点検

主要山系において、山岳警備隊や民間の山岳救助隊等が連携し、山岳パトロール等を実施し、登山方法や危険箇所等について、登山者に直接指導するとともに、登山道の危険箇所を点検した。

また、金華山、納古山等、軽登山者向けの山においても、登山者への安全指導や登山道の危険箇所を点検した。



安全指導（新穂高登山口）



安全指導（金華山）

(2) 関係機関との連携

○ 各種活動に参加

県が主催する山岳遭難防止対策連絡会議、各種催事における山岳広報セミナーに参加し、安全登山を呼びかけた。

○ 登山マップの配布

遭難発生場所や危険箇所を掲載した「北アルプス登山マップ」を登山者、宿泊施設、登山用品店等へ配布した。

○ 登(下)山届提出に関する利便性の向上

各登山口に、登(下)山届ポストを設置しているほか、協定や協力関係により登山アプリ（コンパス・ヤママップ）からも登山届が提出できる仕組みを整備している。



夏山フェスタでの講演



北アルプス安全登山アピール

2 広報啓発活動

新聞、ラジオ、テレビなどの各種メディアを活用し、登山者が増加する時期ごとに、北アルプスの山岳情報や登山における注意事項を情報提供している。

- 岐阜県警察ホームページ

アドレス <https://www.pref.gifu.lg.jp/site/police>



岐阜県警察
ホームページQRコード

- 岐阜県危機管理部防災課ホームページ

アドレス <https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/11115/>



岐阜県危機管理部防災課
ホームページQRコード

- 岐阜県北アルプス山岳遭難対策協議会のホームページ

アドレス <https://www.kitaalpsgifu.jp/>



岐阜県北アルプス山岳遭難対策協議会
ホームページQRコード

- 岐阜県警察本部警備第二課 X (旧Twitter)

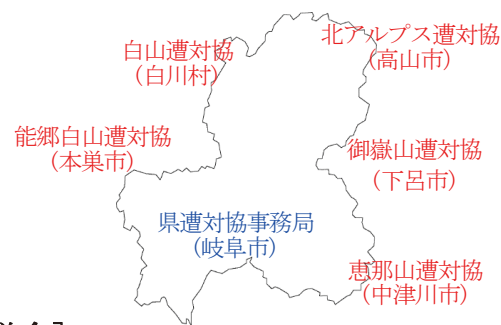
アドレス https://x.com/GP_chiki



岐阜県警察本部警備第二課
X (旧Twitter) QRコード

3 山岳遭難対策協議会との連携

主要山系には、山岳遭難防止と遭難者の捜索・救助を目的に、山岳救助隊を擁する民間の山岳遭難（防止）対策協議会が組織され、県警察と連携し山岳救助活動、山岳遭難防止活動等を行っている。



[山岳遭難（防止）対策協議会]

名 称	救 助 隊 名	担 当 山 系
岐阜県北アルプス山岳遭難対策協議会	北 飛 山 岳 救 助 隊	北 ア ル プ ス
白 山 山 岳 遭 難 対 策 協 議 会	白 山 山 岳 救 助 隊	白 山
御 嶽 山 山 岳 遭 難 防 止 対 策 協 議 会	御 嶽 山 山 岳 救 助 隊	御 嶽 山
能 郷 白 山 遭 難 防 止 対 策 協 議 会	能 郷 白 山 山 岳 救 助 隊	能 郷 白 山
恵 那 山 山 岳 遭 難 対 策 協 議 会	恵 那 山 山 岳 救 助 隊	恵 那 山

～ 登山届の提出について ～

○ 登山届提出

- ・ あらかじめ登山計画を立てることで無理な登山を防止し、体力・装備・技術にあった登山が楽しめます。
- ・ 万が一遭難したときには、遭難場所を特定しやすく、山岳警備隊等がスムーズかつ効率的な救助活動を行うことができます。
- ・ また、遭難や噴火時等に、救助関係者が家族や関係者に素早く連絡をとることができます。
- ・ 岐阜県では、「岐阜県北アルプス地区及び活火山地区における山岳遭難の防止に関する条例」を施行し、北アルプス地区、焼岳、御嶽山、乗鞍岳及び白山（岐阜県側）の登山に登山届の提出を義務化しています。

○ 提出方法

- ・ 登山届ポストへの投函
- ・ 提出機関への郵送、電子メール等
- ・ 公益社団法人日本山岳ガイド協会「コンパス」オンライン届出
QRコードアドレス <https://www.mt-compass.com/>
- ・ 株式会社ヤママップ「YAMAP」オンライン届出
QRコードアドレス <https://yamap.com/plans/new>



「コンパス」QRコード



「YAMAP」QRコード

○ 提出機関

- ・ 岐阜県警察本部
〒500-8501 岐阜市藪田南2丁目1番1号
岐阜県警察本部 警備部警備第二課 山岳係
電話 058-271-2424（代表）
電子メールアドレス gifupolice-tozan@govt.pref.gifu.jp
QRコードアドレス <https://mail-to.link/m9/3raw9n5>



岐阜県警察本部
登山届メールQRコード

- ・ 地元警察署又は交番、駐在所

- ・ 岐阜県防災課～条例対象エリアのみ

北アルプス地区、活火山地区(御嶽山、焼岳、白山、乗鞍岳)
〒500-8570 岐阜市藪田南2丁目1番1号
岐阜県 危機管理部防災課 山岳遭難・火山対策室
電話 058-272-1111（代表）
FAX 058-271-4119
電子メールアドレス gifu-tozan@govt.pref.gifu.jp
QRコードアドレス <https://mail-to.link/m9/3gjwifh>



岐阜県防災課
登山届メールQRコード

- ・ 岐阜県北アルプス山岳遭難対策協議会事務局（北アルプス地区のみ）
電子メールアドレス info@kitaalps.gifu.jp

令和 8 年 稜線
～令和 7 年中の山岳遭難・山岳警備活動～

令和 8 年 3 月発行

発 行 岐阜県警察本部警備部警備第二課
〒500-8501
岐阜県岐阜市藪田南 2 丁目 1 番 1 号
TEL 058-271-2424 (代表)



RAI(ライ) REN(レン)

岐阜県警察シンボルマスコット